

「福岡が好きだから福岡のファンをもっともっと増やしたい」

山本華世さん



山本華世さん
1964年福岡市生まれ。高校時代はバスケットボールで国体出場。中村学園短期大学卒業。ラジオ、テレビのパーソナリティで活躍中。1993年にはKBCテレビ「山本かよの妊娠日記」で日本民間放送連盟・テレビ部門最優秀賞受賞。現在は、FBSテレビ「ナイト・シャッフル」、KBCテレビ「ドォーモ」のキャスターを務める。各県随自治体、多量講演活動でも活躍中。

博多弁を交えた軽快なトークで人気の山本華世さん。生まれも育ちも仕事の舞台も福岡で、このまちへの思い入れも深い。「中でも心に残るところはどこかね？」と聞かれたら、単純かもしれないけど油山がまず浮かびますね。小学校の時の遠足、車の免許を取って初めてのドライブ、我が子と一緒に休日…。時は移り、山から望む景色は少しずつ変わっても、そこで感じ取る空気感は変わらず、私の中に何かを感じさせるんです。

15年ほど前、事務所を置いていたという大名周辺の話も出た。「あの辺はものすごいスピードで変わってたまに行く」と圧倒されるけど、そんな中に何十年と商売を続ける食堂や商店とか見つけると、ホッとする。若い人たちのエネルギーと老舗の頑固さのバランスが絶妙やわ。世代間でまちを盛り上げてるって感じですよ。それでもまだまだ東京に憧れを抱く若者も多い。そこには景観が大いに関係しているのではないかと、山本さんは語る。「福岡はすこいまちよーって若い人たちが自慢し、愛着を持てる部分が景観にもほしいと思います」。

山本さんの話を聞いてみると、心底、福岡を好きなことが伝わってくる。「最近、博多区の承天寺や中央区の平尾山荘とか、新しいお気に入りが増えちゃってますよ。私もまだまだ福岡の知らない部分は多い。たぶん一生かかっても知りつくせんかも。それでも福岡の魅力をどんどん発掘し、たくさんの方にこのまちのファンになっってもらうこと、それが福岡を好きな自分の役割かなって思っとう」と、サラリと語る山本華世さんに福岡人の心意気を感じた。

福岡市を一望できる油山